

# 全校ウォークラリー (R5.6.9)

今年のテーマは、「地域の宝『人』」です。松野尾に関わりの深い6名の職人さんやものしり博士などのもとに訪れ、交流を深めました。毎年恒例のチェックポイントでのクイズやビンゴを通して自然と関わるフィールドワークも行い、楽しみながら地域での学習を進めました。



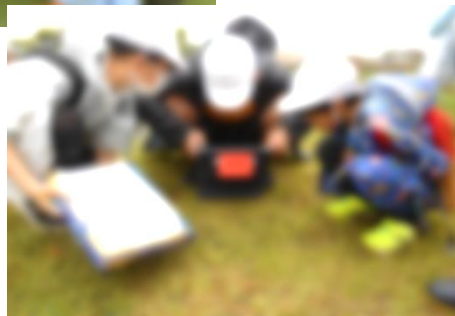
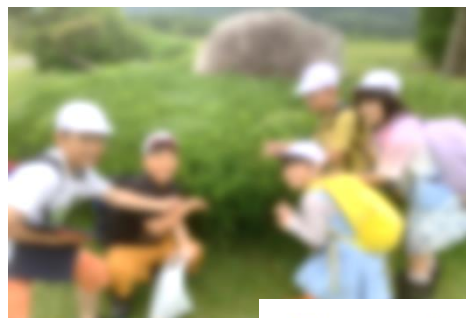
今年はいろいろな人と話せたので、うれしかったです。コミュニティーセンターでフルーツよく人から、畑の使われ方について聞きました。これからもまつ野おで、おいしいフルーツや野菜が作られるといいなと思いました。きまりを守ってグループ活動ができてよかったです。  
3年 Iさん

わたしはせんじょう院で、まつ野おれきはかせからお話を聞きました。せんじょう院がいつできたのか、どんなところなのかということを知りました。つかれたけど、いろいろなところに行けて楽しかったです。  
3年 Iさん



インタビュー活動では、松野尾地域の昔の様子やポイセンサーなどの農作物について知ることができました。がんばったことは、下の学年にまとめて指示を出したことです。来年は班長として下学年に声をかけながら、班を引っ張りたいです。  
5年 Kさん

今年も帰り道でゴミ拾いをしながら歩きました。はんのみんなで行いました。上せきがたのネイチャービンゴで、カマキリの赤ちゃんを見つけてうれしかったです。はんのみんなと仲よく活動できて、うれしかったです。10ぱんのはん長が、ゆうがさんでよかったです。  
4年 Yさん



上堰島公園はかせのさいとうかずおさんに話を聞きました。「上堰島は、もとは上関湯だった」ということを聞いて、どうして変わったのだらうかと思い、もっと知りたくなりました。来年は高学年になるので、みんなをしっかりと引っ張りたいです。  
4年 Tさん

色々な自然を見つけられて、楽しかったです。また、上堰島はかせのインタビューで、ゴミを減らす工夫や公園のみ力について知ることができました。来年は班長としてグループを引っ張りたいです。  
5年 Yさん

上堰島公園を利用する時に大切にしてほしいことを齋藤一雄さんに聞きました。「ポイ捨てをやめてほしい」と、一雄さんは私の目を見て話してくれました。その時に、本当にポイ捨てはダメだと気付きました。これからも上堰島公園をきれいしていきたいと思いました。  
6年 Tさん

わたしは、ささいわいしゅぞうに行きました。おさけの作り方や、なにでできているのかを教えてくださいました。こんど、べん強したことをパパに教えて、ささいわいしゅぞうというお店をすきになってもらいたいです。  
2年 Tさん

ぼくは、はっぱをみつけるのがたのしかったです。はあとがたのはっぱをみつけました。たくさんあるいたので、すぐつかれました。あしがいたくなりました。おさけやさんでは、おさけにはいいきんがまいつていることがわかりました。  
1年 Aさん



## <ボランティアに参加いただいた皆様より>

- ・上の子が下の子を上手に誘導する姿がありました。中学年でも責任感があり、6年生任せになっていないところが素晴らしかったです。
- ・高学年の子どもを中心に低学年の子どもの面倒をよくみていたと感じました。クイズの時なども、低学年用のクイズを高学年の子がヒントを出して楽しませてくれてすごく良いなと思いました。
- ・上級生が下級生に声をかけて(荷物を持ってあげたり、危ない所など教えていたり)、下級生も上級生の話を聞いて(理解して)いた。普段からなかよし班で活動しているだけあって、トラブルもなく、無事にゴールすることができた。
- ・自分の子どもと違う班で良かったです。最初は同じが良かったと思いましたが、同じだと甘えが出てしまうので。
- ・昨年と同じ班だった子が、6年生として班をしっかりとまとめていた。自分の子ども以外の子と触れ合えるよい機会だと思う。平日の休みを取得するのは難しいことだと思うが、多くの保護者に体験してほしい。

# 2年生 農業体験学習 [アグリパーク] (R5.6.23)



牛のえさやりをしました。さいしょはこわかったけど、だんだんなれてきたので、えさを手わたして食べさせることができました。楽しかったので、お休みの日にまた行きたいです。  
2年 Iさん

ピザを作ると聞いて、ドキドキしました。トマトを切る時は、しっばいしそうだったけど、うまくできて楽しかったです。さいごに、自分たちで作ったピザを食べたら、とてもおいしかったです。  
2年 Iさん

## 7月の行事予定

3 (月)	全校朝会 諸校費振替日 体験型安全教室 (1年)	13 (木)	生活アンケート
4 (火)	委員会	19 (水)	学期末4時間授業 下校 13:15 陸上記録会現地練習 下校 16:00
5 (水)	市小研4時間授業 下校 13:15	20 (木)	学期末4時間授業 下校 13:15
6 (木)	福島潟散策 (3年)	21 (金)	1学期終業式 下校 11:25
10 (月)	学期末4時間授業下校 13:15	26 (水)	新潟市陸上競技記録会 (西地区)
12 (水)	第2回通学班会議 集団下校		

# 学校だより松野尾



No.4  
令和5年6月30日  
発行 新潟市立松野尾小学校

## 「プラス思考で、前向きに」

特別支援教育コーディネーター 小林 朗子

私たちは、程度の差はありますが、何かしら好きなことや得意なこと、苦手なこともあります。また、同じ出来事や状況でも人それぞれで感じ方が違います。松野尾小学校は小規模校で学級の人数は少ないですが、82人それぞれの特性があります。それは、脳の働きが一人一人違い、これまでの経験や育った家庭環境も違うからです。

学校では、授業に参加したり、みんなと活動したりする際、「きく力」「かかわる力」「書く力」「集中する力」「我慢する力」など、実にたくさんの力が必要になります。前述のとおり一人一人脳の働きが違い、一人一人の力や感じ方が違うため、成長の場ともなりますし、トラブルが起きることもあります。一步一步進み、時には戻ったように見えたりしながら、子どもたちは確実に成長していきます。学年が上がるごとに、そしてこの先、進学したり、社会に出たりしていく中で、学校で培ったたくさんの力は、この先もずっと必要になっていきます。

今年度大切にしたいことのひとつ『主体性』。「自分から考え、判断し、行動する」ためには、まず、学校や学級が安心・安全で過ごせる場でなければなりません。学校では、子どもたちの成長を願って、教室環境と言語環境を整えています。そして、子どもたちに「プラス思考で前向きな言葉」をかけるように努めています。

メディアなどの中でたくさん聞かれる「人をけなす言葉」、「否定する言葉」は、言われた本人はもちろん、間接的に耳にするだけでも不快になります。「えーやりたくない」、「めんどくさい」などのマイナス言葉は、子どもたちからも少なからず聞かれます。マイナス言葉はがんばろうとしている人たちの雰囲気を壊すとともに、言った自分自身も声に出すことで、そのように脳が働いてしまいます。自分の気持ちや言いたいことを全否定する必要はなく、「思うことは仕方ない」、「自分はこんな気持ちでいるんだな」と気付くこと（認知）は大切です。しかし、子どもたちが口に出す言葉は、「ありがとう」「大丈夫」「まあいっか」「でも、がんばる!」「やってみよう」など前向きな言葉にしていきたいです。

6月9日にあったウォークラリーでは、班のメンバーにかける6年生の言葉掛けがとても優しく、的確でもあり、どの班も楽しく活動を終えることができました。そんな6年生を頼もしく誇らしく思い、どの子も毎日を笑顔で幸せに過ごしてほしいと願いながら、昨年に引き続き、子どもたちがプラス思考で前向きに取り組めるよう職員全体でかかわっていきます。